

有明海・八代海再生 P T

日 時：令和 7 年 10 月 29 日（水）16：00～17：00

場 所：自民党本部 704 会議室

出席者：自民党有明海・八代海再生 P T 座長 松村祥史参議院議員

熊本県選出国會議員

坂本哲志衆議院議員

馬場成志参議院議員

藤木眞也参議院議員

有明海再生会議 代 表

西久保佐賀県有明海漁協長

副代表

藤森熊本県漁連会長

副代表

堤福岡有明海漁連会長

副代表

高平長崎県漁連会長

東町漁業協同組合

山下組合長

5 県（熊本、佐賀、福岡、長崎、鹿児島）行政及び各県選出国會議

員、農林水産省、環境省、国土交通省、総務省、文部科学省、経済産

業省

（概 要）

自民党有明海・八代海再生 P T が自民党本部で開催され、これまで座長を務めて頂いた金子恭之衆議院議員が国土交通大臣に就任されたため、今回より、松村祥史参議院議員が座長に就任されました。

議事に先立ち、有明海再生会議及び鹿児島県東町漁協から、松村座長に対し、要望書が手交されました。

その後、議事に入り環境省、国土交通省、農林水産省（農林振興局、水産庁）より、令和 8 年度有明海及び八代海再生関連事業の予算概算要求の状況について説明がおこなわれた後、4 県漁連・漁協の会長・組合長及び鹿児島県東町漁協長から要望内容が説明され意見交換会がおこなわれました。

熊本県漁連の藤森会長からは、有明海再生加速化対策交付金の創設、海洋ゴミの回収・処理に対する支援への謝辞を述べられ、赤潮被害が 5 年連続で発生し多くの被害がでていることに対し早期の赤潮発生メカニズムの解明及び海苔養殖におけるカモ・チヌによる食害対策への支援等について要望されました。

